

KINGCA WEEK 2024 参加記
大阪大学消化器外科 山本和義

2024年9月26日～28日 韓国ソウル Lotte Hotel Seoulで開催された KINGCA WEEK 2024 に参加して参りました。

私は2012年3月22日～24日韓国南部の都市 光州で開催された学会(当時はまだ Korean Gastric Cancer Association Meeting という名称でした)に参加させて頂いてから、2018年、2019年、2023年に続き、今回で5回目の参加となります。個人的な話ですが、私は2012年3月～5月、当時の上司であった辻仲利政先生にお声掛け頂き、韓国ソウルにある延世大学 Severance 病院の Noh Sung Hoon 先生、Hyung Woo Jin 先生のもと、3か月間 Visiting Fellow として留学する機会を頂きました。初めての海外生活、年間1200例以上の胃癌手術、圧倒的スピード、海外からのたくさんの見学者と、非常に刺激的な毎日でした。3か月の間に、National Cancer Center の Kim Young Woo 先生、Seoul National University Bundang 病院の Kim Hyung Ho 先生のところでもそれぞれ1週間ずつ勉強する機会を頂きました。この3か月の経験は、私の胃外科人生に非常に大きな影響を与えています。当時出会った韓国の先生方は、会うたびに気さくに声をかけて頂き、良い関係が続いています。





KINGCA Week については、以前は韓国の胃外科医中心の学会でしたが、今年の学会では788人の参加者中、中国、インドネシア、インド、日本、ヨーロッパを中心に267人が海外から参加しており、内視鏡医、腫瘍内科医、看護師の割合も増え、内容も Basic research や Immunology の発表など、より多面的な学会になっていると感じました。

9月28日（土）の午前中に開催された Stage IV胃癌に対する Conversion Surgery についての Consensus Meeting は最終日にも関わらず、立ち見もいるほど盛況でした。Conversion 手術は推奨されるか、手術のタイミング、レジメン、手術時の郭清度、化学療法後に消失した転移巣の扱い、大規模な RCT の必要性について、など各ステートメントに対して、各国のエキスパートからのコメントが提示され、とても興味深く拝聴しました。最後に、韓国の先生方と、来年の JGCA（名古屋）での再会を約束し、岐路につきました。

